



世界の人たれ

 島根県立松江北高等学校

質実剛健



北高のシンボル双松（昭和53年ころ）

文武両道

島根県立松江北高等学校は2026年に創立150周年を迎えます



島根県立松江北高等学校



〒 690-0872 松江市奥谷町164番地
TEL: (0852) 21-4888 (代表) FAX: (0852) 21-4977



<https://www.matsuekita.ed.jp>

スマートフォンで北高の情報をご覧いただけます。
ご利用方法についてはこちらをご覧ください。

やることのない日がないくらい
毎日が充実している。

きつい学校までの坂を、はじめはヘトヘトだったけれど
だんだんルンルン♪に登れるようになった。
≡体力、集中力、忍耐力がついた！

自分の考えをまとめて伝える機会が多いので、
思を中学の時よりうまく伝えられるようになった。

自分のやりたいことを思い切りできる環境があっ
て、応援してくれる友達が沢山できます。

理系に進むのならば、だんぜん理数系に入ることをおすすめ
します。他のクラスよりも理科に関して進捗がとても早いので
受験に有利です。それだけではなく、素晴らしい研究者の方
々や特定分野の第一人者の方々に会う機会も多くあるので
本当に入ってよかったと思っています。

勉強する時間がふえた。
中学校よりたのしい(^o^)

普段が勉強で大変だからこそ
紅陵祭や3年生を送る会が
めっちゃめっちゃ楽しい！！

自分で今日は何を勉強すればいいのかをちゃんと
考えて見通しをもって勉強できるようになった。

新しい仲間との出会いがたくさんあります。
始めに声をかけるのは緊張しますが、声をか
けてみると意外とすぐに仲良くなることがで
きると思います。

Let him who would move the world, first move himself.

世界を動かそうと思ったら、まず自分自身を動かせ

とにかく授業が楽しい！
北高には個性豊かな先生方が沢山います！

毎日の授業の予習、復習をする習慣がついた。

努力家の人が多く、そんな人た
ちの姿をみて、自分もがんばろう！
と日々励みになっている。

自分の進路、将来について真剣に向き合うことが
できるようになった。

図書室の本の冊数が豊富！
新しい本もどんどん増えていく！

勉強が楽し
なってきた。

みんなが様々なことに全力で
勉強はもちろん、部活動をは
など北高生は多くの場所で活
動しています。みんな頑張っているの
で、自然と自分も頑張れます！(^v^)

部活 動の種類が多い。

進路につ
先生方が
いろいろなアドバイスを
いただける。

いろ
視野
んな人がいて楽しい。
が広がる。

人前で英語を
話すのが苦ではなくなった

自分の知りたいことを先生や
図書館にある豊富な本が教え
てくれる！

紅陵祭がすごく楽しいです。

学食がうまい。

積極的
に校外活動をするようになった。

いと思えるように

取り組んでいます。
じめ総学での活動
躍していると思
いで、自然と自分も

世界の人たれ

MOVE!

自動詞 ① 動く、体(手足など)を動かす、…
② 進む、進行する、…
③ (仕事・事態などが)進展する
他動詞 ① (….)を動かす、
② [しばしば受け身で] (人)を感動させ
る、(人)の心を動かして~させる

ライトハウス英和辞典第6版(研究社)より

Move (動く、心や体を動かす) について

M	mind (知性、考え方)	meet (出会う)	p.3
O	open up (切り拓く)	outcome (成果)	p.6
V	value (価値観)	variety (多様性)	p.7
E	enjoy (楽しむ)	entertain (楽しませる)	p.9

松江北高校は

人間関係構築力

道徳性、社会性を備え、豊かな人間関係を築くことができる生徒

知的探究力

知的好奇心のもとに、自ら考え、学び続けることができる生徒

自己開拓力

学習をはじめとして様々な活動に取り組み、将来の可能性を広げることができる生徒

社会貢献力

社会で活躍することができる生徒

を育てます

松江北高校では普通科で

“世界の人たれ”入試(推薦入試)を行っています。

松江北高校の求める生徒像

- 多様な価値観を認め、豊かな人間関係をつくる生徒
- 高い目標に向かって、自ら学ぶ意欲をもつ生徒
- 学習だけでなく、いろいろな活動に積極的に取り組む生徒
- 社会で活躍することを目指す生徒

松江北高校の特色

- 普通科・理数科の2学科体制
- 高度な学びへ向かう知的好奇心を高める授業の推進
- 生徒の主体性および他者との協働する力を育む活動の推進
- 社会で活躍する多数の人材育成プログラム
- 特色ある理数科カリキュラム

知

Mind
知性

Meet
出会う

高度な学びへ向かう知的好奇心を高める授業を行っています



充実した授業で確かな学力をつける

学習の基礎となる授業を大切に、さまざまな取り組みを行っています。基礎的な知識・技能を身に付ける方法を工夫するとともに、知識・技能を活用する問題演習の機会を多く設けています。グループワーク等を通して自分の考えたことを伝える力を養います。



先生がわかりやすく教えて下さり、授業を集中して受けることができます
(松江第三中学卒)



新聞の読み取りにより資料を読む力を養うとともに、社会課題に関心を向ける機会をつくります。(公民)



英語を聞く・話す・読む・書く活動を積極的に取り入れ、他者と協働しながら言語力を磨きます。(英語)



自分の解き方を解説することで、他者意識を持ってアウトプットできる力を養います。(数学)

授業の内容が充実していて、学力を向上させることができます
(松江第一中学卒)



「世界の人たれ」講演会(2022年の様子)
土岐祐一郎氏(大阪大学医学部医学系研究科教授 松江北高校理数科卒業)による講演。さまざまな分野で活躍する先輩のお話を聞き、自分のキャリアや学ぶことの価値について考えます。

知的好奇心に訴え、 学びに向かう力をつける

大学との連携による講習会を行ったり、海外で行われるコンテストへのチャレンジを進めたりするなど、知的好奇心に訴えるさまざまな取り組みを行っています。また、図書館の充実を図り、多様な情報に触れると、問題をじっくりと考える場を提供しています。

周りに志が高く努力家の友人が
たくさんいて、良い影響を与えてくれる
(松江第一中学卒)

さまざまなイベントの案内がくるので
興味の幅を広げやすいと思います
(附属中学卒)



エンパワーメントプログラム(2022年の様子)
5日間、留学生たちと英語でのディスカッションを通して、グローバルな視点から自分の将来に何が必要かを考えます。

第11回 科学の甲子園全国大会 物理分野 全国1位 表彰



「第11回科学の甲子園全国大会」に島根県代表として出場した本校のチームが、全国から強豪校が集まるこの大会で物理分野「全国1位」に輝きました。他にも、地学分野は全国9位、数学分野全国12位と健闘し、総合順位も全国11位と、歴代の島根県代表としてトップの成績を収めることができました。科学競技にも積極的に挑戦しています。

教育課程 Curriculum

普通科

幅広い教科を学ぶ中で、
自分の可能性や進路にじっくり向き合う

令和6年度 普通科の教育課程 (予定)

1年は全員が同じ科目を学習し、2年進級時に「文系」と「理系」に分かれます。
「理系」は理科の単位数が多くなります。

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学I	数学II	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	音楽I	英語コミュニケーションI	論理表現I	家庭基礎	HR	総探																		
2年	文系 論理国語	文学国語	古典探究	歴史総合	地日世探究	公共	数学II	数学III	数学B	物理	生物	化学基礎	化学	体育	保健	音楽II	英語コミュニケーションII	論理表現II	情報I	HR	総探													
3年	理系 論理国語	古典探究	言語文化探究	地日世探究	倫理	政治・経済	芸術II	数学III	数学C	数学C	物理	生物	化学	体育	保健	音楽III	英語コミュニケーションIII	論理表現III	情報II	HR	総探													

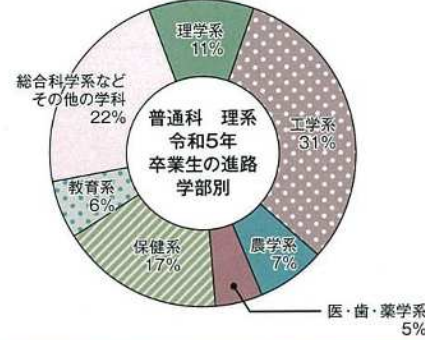
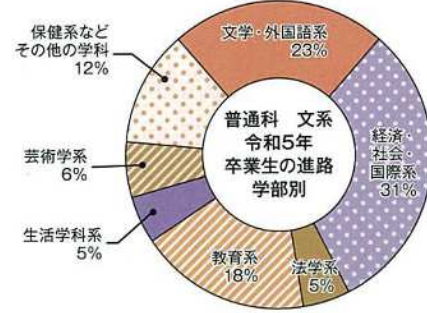


普通科課題研究発表会
自分自身の興味・関心に基づいた探究学習の成果を発表します。



令和6年度 普通科1年生の時間割 (予定)

月	火	水	木	金	
1限	言語	現国	英語C	数学α	英語T
2限	数学α	物理基礎	芸術	英語E	家庭
3限	英語C	家庭	数学α	体育	生物基礎
4限	地理	英語E	数学β	地理	言語
5限	生物基礎	体育	物理基礎	現国	体育
6限	保健	芸術	言語	英語C	数学β
7限		数学α	HR	探究	



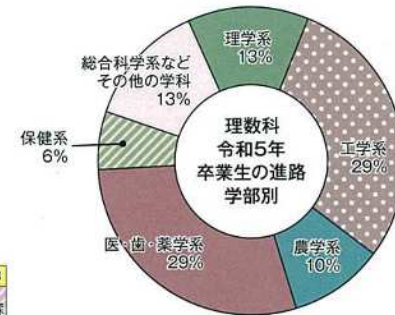
理数科

理科や数学をより深く学び、
科学技術や医学分野での活躍を目指す

令和6年度 理数科の教育課程 (予定)

1年から理科の科目数・単位数が多くなっています。

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年	現代の国語	言語文化	体育	保健	音楽I	英語コミュニケーションI	論理表現I	理数数学I	理数数学II	理数物理	理数化学	理数生物	HR	総探																				
2年	論理国語	古典探究	言語文化探究	歴史総合	公共	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理表現II	家庭基礎	理数数学II	理数数学特論	理数物理	理数化学	HR	総探																		
3年	論理国語	古典探究	言語文化探究	地理総合	倫理	政治・経済	芸術II	英語コミュニケーションIII	論理表現III	情報I	理数数学II	理数数学特論	理数物理	理数化学	HR	総探																		



令和6年度 理数科1年生の時間割 (予定)

月	火	水	木	金	
1限	英語C	英語T	言語	生物	数学α
2限	生物	現国	芸術	現国	化学
3限	体育	物理	英語C	保健	英語E
4限	数学β	数学α	物理	英語C	言語
5限	数学α	英語E	体育	数学α	物理
6限	言語	芸術	数学β	化学	体育
7限		生物	HR	探究	



理数科関東研修旅行 筑波の研究施設の見学や
東京大学の研究室訪問を通して知見を広げます。



進路 Course

大学等への進路実現に責任を持ち
社会で活躍することができる人材を育成します

Open Up 切り拓く
Outcome 成果



令和4年度主な合格校(既卒者を含む)

●国立大学

北海道大	1人	島根大	35人
東北大	1人	岡山大	14人
筑波大	1人	広島大	13人
宇都宮大	1人	山口大	12人
千葉大	3人	徳島大	1人
東京海洋大	1人	鳴門教育大	1人
東京外語大	1人	香川大	2人
東京学芸大	1人	愛媛大	5人
東京大	2人	高知大	3人
富山大	1人	九州大	4人
金沢大	2人	九州工業大	1人
信州大	1人	福岡教育大	1人
静岡大	2人	長崎大	1人
滋賀大	1人	熊本大	3人
京都大	5人	大分大	3人
大阪大	5人	宮崎大	4人
神戸大	2人	鹿児島大	1人
奈良女子大	3人		
和歌山大	1人		
鳥取大	12人		

●公立大学

東京都立大	1人
公立小松大	1人
諏訪東京理科大	1人
名古屋市立大	1人
京都市立芸大	1人
京都府立大	2人
大阪公立大	1人
鳥取環境大	4人
島根県立大	11人
岡山県立大	2人
新見公立大	3人
尾道市立大	1人
福山市立大	2人
下関市立大	3人
山口県立大	1人
山口東京理科大	1人
香川保健医療大	1人
北九州市立大	3人
福岡県立大	1人
福岡女子大	1人

●私立大学

自治医大	1人	関西外大	5人
城西大	4人	近畿大	15人
慶応大	5人	関西学院大	17人
上智大	1人	神戸学院大	5人
東海大	1人	神戸女子大	2人
東京理大	3人	武庫川女子大	2人
法政大	3人	岡山理大	8人
明治大	1人	吉備国際大	5人
立教大	3人	広島修道大	9人
早稲田大	4人	広島文教大	10人
南山大	1人	安田女子大	11人
名城大	1人	松山大	2人
大谷大	1人	立命館アジア大	1人
京都外大	6人		
京都産大	14人		
同志社大	10人		
立命館大	13人		
龍谷大	5人		
佛教大	1人		
関西大	9人		

合格体験記より

卒業生から在校生に向けたメッセージの抜粋です。

私はこの春、美大生になりました。私が第一希望校を決めたのは、高3の夏頃でした。沢山の大学のパンフレットを読んできましたがなかなか腑に落ちず、最終的には美術の先生方に自分に合った大学を勧めていただいて、ようやく決まりました。ネットだけでは得られないような、各大学のレベルや特徴を比較して丁寧に教えてくださるので、困ったら専門の先生に相談してみてください。

毎日の授業、復習を徹底することが一番大事だと感じます。授業中に塾の課題や過去問を解いたり、居眠りをしたりするのはなく、先生のお話を聞き、問題を解くことを一番に優先するべきだと感じました。

すでになりたい職業や行きたい大学が見つかる人はどれくらいいるでしょうか。正直、何に対しても大きな興味をもてない人も多いと思います。私自身も高校二年後半まで、特にやりたいことがなくて、これから先に漠然とした不安がありました。しかし、あるとき、興味をもてなかったのではなく、自分から探しに行かなかったということに気づきました。探す方法として、新聞や本、テレビなどの様々な情報が身のまわりにあります。私の場合は漫画でした。興味が惹かれるものの発見は目標を生み、勉強に対してのやる気やモチベーションの保持につながります。

朝は7:30までには学校に着くように心がけていて、放課後も時間が許す限り残らせてもらっていました。なにより誘惑と闘いながら勉強するより、特に興味をそそられない環境で勉強するほうがずっと楽です！各自集中しやすい環境に自らを置くことをおすすめします。

朝は図書館で英語長文を読むと決めていました。小さな勉強のルーティンを決めておくと勉強へのハードルも減るし、部活などで忙しくても最低限の勉強習慣が勝手についてきます。

絶対に部活は楽しむべきです。私は、部活で最高の仲間と先生に出会うことができました。勉強との両立は大変ですが、引退まで楽しんでほしいです！

正直、部活と勉強の両立は難しく、何度もやめたいと思いました。しかし、今振り返ると部活動をしてよかったと実感しています。合格したからそのように思えるというかもしれませんが、部活動に真剣に取り組まないと得られない沢山の経験をすることができました。

受験は一人の力だけでは成功できません。受験は長期戦なのでどこかで自分に自信がなくなり、諦めたくなるときがあると思います。そんなときは一緒に頑張っている友達が救ってくれます。

挑

Value
価値観
Variety
多様性

生徒の非認知能力を高める活動を推進しています



厳しい練習の先にある大きな達成感

インターハイで準優勝という結果を残せたのは、先輩をはじめコーチや先生方、同級生の仲間たちの支えがあったからです。どんなに辛い状況の中でも声をかけたり、そばに居てくれたのは仲間たちでした。

ボートは、頑張れば頑張るだけしっかり結果がついてくる競技だと思っています。はじめ、厳しい練習の中で先輩たちがストックに頑張っている姿を、私は不思議に思っていました。なぜこんなに弱音を吐かずに頑張れるのかと。でも、初期の大会で勝つことができた時、

女子ボート部 持田なほ（令和2年度卒）

「あー、このためだったんだな」と実感することができました。最初は、「メダルなんて遠いものなのかな」と思った時もありましたが、苦しい練習を大声を出しながら乗り越えていくうちに、「本当に手が届くんじゃないか、この仲間ならいけるんじゃないか。」と思えたのです。だから、インターハイ決勝は達成感しかありませんでした。

最高の仲間たちと最高の達成感を得ることができたことを誇りに思っています。

自ら考え、先を見て行動することの大切さを学ぶ

野球部 大原 一真（令和2年度卒）

私は部活動を通じて常に先を見て行動することの大切さを学びました。それまではあまり意識したことがなく、練習の雰囲気や試合内容が思うようにならない大きな原因になっていると痛感しました。そこで、ミーティングを行い三つの部訓を決めました。その一つに「先手必勝」という言葉があります。先を見て動けるように

と選びました。自主的に行動したことで全体に良い影響を与え、チームも活気づきました。部活動は自ら考える習慣を与えてくれ、受け身ではなく主体的に取り組むことの重要性を教えてくださいました。もちろん、野球の楽しさは私の生活に欠かせない時間です。

部活動 Club activities



自立性、協調性、そして山の魅力を知る

男子登山部 原田 結丞（令和2年度卒）

「精神力と体力を鍛えたい」という想いで僕は登山部に入学しました。しかし実際に活動してみるとそれ以上の教訓を得ることができました。例えば、登山大会では先生からのサポートを受けることなく数日間チームで過ごすので、自立性や協調性が求められます。これらの力は社会

人として必要な能力でもあるので、今後の生活に生きてくると思います。また、登山部では登山だけでなく、ボルダリングやスキーなど、多様な山の楽しみ方を体験できます。ちなみに僕は登山がより一層好きになったので、今後は未踏の山を目指してみようと思います。



全員の努力で生み出すハーモニー

合唱部 原 菜月子（令和3年度卒）

歌には人を元気づけるという不思議な力があります。それと同じように、実は合唱にも目に見えない不思議な力があります。表現力は一人で発揮しようとしても限界がありますが、二人でやろうとすると二人以上の力を発揮することができます。それを実現するためには部員全員

が同じ方向を向き、努力する必要があります。私たちがその努力を重ね、結果へとつなげることができました。これからは1+1=10になる不思議な力に日々驚かされながら、大切な仲間とともに努力を重ねていきます。



日々の生活でのリフレッシュの場

百人一首かるた部 田邊 紀佳梨（令和2年度卒）

私が百人一首かるた部に入学したきっかけは、部活動見学の時でした。かるたを取る先輩の姿がかっこよく、私もやってみようという興味本位で入学しました。私は高校から始めたので、はじめは百枚の札を覚えることが課題でした。大変でしたが、毎日練習することで覚えることができ、コツコツ努力することが大切だとわかりました。

また、かるたは心理戦なので、あせると札が取れなくなってしまいます。そんな中で、頭で状況を整理して持ち直すこと、客観的目線を取り入れることがとても大切だと感じました。私にとって、部活は日々の生活での良いリフレッシュとなっています。部活中に部員と他愛ない話で盛り上がるのが多々あり、楽しい学校生活を送っています。



部活動一覽（令和4年度実績）

体育会系

ボート部

- ◆中国高校ボート選手権大会
女子シングルスカル優勝
女子舵手付クォドル優勝
- ◆全国高等学校総合体育大会ボート競技
女子シングルスカル準々決勝進出
- ◆全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会
女子シングルスカル5位

野球部

- ◆サッカークラブ部
- ◆バスケットボール部
- ◆バドミントン部
- ◆全国高等学校選抜バドミントン大会
中国地区予選会 男子 出場
- ◆中国高等学校バドミントン選手権大会
男子 ベスト8
女子ダブルス 出場

卓球部

- ◆中国高等学校卓球選手権大会
女子学校対抗、男子シングルス、
女子シングルス 出場
- ◆全国高等学校選抜卓球大会
中国地区予選大会
女子学校対抗 出場

新体操部

- ◆中国高等学校選抜水泳競技大会
男子50m自由形、男子100mバタフライ
女子100mバタフライ、女子200mバタフライ 出場
- ◆中国高等学校新人水泳競技選手権大会
男子50m自由形、男子100m自由形、
男子100m平泳ぎ、男子200m平泳ぎ
男子100mバタフライ、200m個人メドレー、女子200mバタフライ 出場

文化部系

合唱部

- ◆NHK全国学校音楽コンクール
中国ブロックコンクール 銀賞
- ◆中国合唱コンクール
高等学校部門Aグループ 金賞(第2位)
- ◆全日本合唱コンクール全国大会
高等学校部門Aグループ 銅賞

吹奏楽部

- ◆演劇部
- ◆放送部
- ◆NHK杯全国高校放送コンテスト
朗読部門 準決勝進出

美術部

- ◆写真部
- ◆書道部
- ◆自然科学部
- ◆百人一首かるた部
- ◆全国高等学校総合文化祭
小倉百人一首かるた部門 出場
- ◆中国地区高等学校
小倉百人一首かるた大会
島根県Aチーム(第4位)
島根県Bチーム

囲碁将棋部

- ◆全国高校総文祭(囲碁部門)および
全国高校囲碁選手権大会
団体戦 島根県チーム4位、個人戦 出場
- ◆中国高等学校囲碁選手権大会
個人戦 優勝
- ◆全国総合文化祭将棋部門
男子個人戦、女子団体戦 出場
- ◆中国地区高等学校将棋選手権大会
男子、女子 出場

陸上部

- ◆中国高等学校陸上競技対校選手権大会
男子1500m、男子3000m障害、
女子200m、女子400m、
女子4×100mリレー 出場
- ◆中国五県陸上競技対抗選手権大会
女子走高跳、女子4×100mリレー、
女子4×400mリレー 出場
- ◆中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会
男子5000m競歩8位、女子200m、
女子4×100m出場

テニス部

- ◆中国高等学校テニス選手権大会
男子団体、男子シングルス 出場
- ◆全国選抜高校テニス大会中国大会
男子 第6位
- ◆全国選抜高校テニス大会
男子 個人戦 出場

ソフトテニス部

- ◆中国高等学校ソフトテニス大会
女子個人戦 出場
- ◆登山部
- ◆全国高等学校総合体育大会登山大会
男子団体 40位
- ◆中国高等学校登山大会
男子団体 第7位、女子団体 第6位
- ◆弓道部
- ◆中国高等学校弓道選手権大会
男子個人戦出場
- ◆全国高等学校総合体育大会弓道競技大会
出場
- ◆中国高等学校弓道新人大会
個人戦女子出場、団体戦ベスト16
- ◆剣道部
- ◆中国高等学校剣道選手権大会
出場

科学の甲子園

- ◆第12回科学の甲子園全国大会
- ◆音楽
- ◆瀬田太郎記念全日本高等学校
音楽コンクール 第2位
- ◆全日本学生音楽コンクール全国大会
音楽部門 第2位
- ◆全日本クラシック音楽コンクール
全国大会 音楽部門



▲教室移動。授業に向けてワクワク

▼テスト前には積極的に質問に行きます



楽しむ
Entertain
楽しませる

生徒の主体性及び
他者と協働する力を育む活動を推進しています



▲紅陵祭での3年生ページェント（野外劇）。集大成です



▲紅陵祭の準備はみんなで協力します



▲2年生ダンス発表会。クラスが一致団結

▼休憩時間は楽しく。メリハリが大切



Interview

北高OBの先生に
リアルな北高生活について
聞いてみました!!

体育 西尾先生
平成15年卒



N
北高野球部OBにして
現在北高野球部監督



I
国語 池田先生
平成27年卒

大学を卒業後
母校の北高に赴任

北高ニ勉強？

→まず入学する前、北高ってどんなイメージでしたか？

池田先生（以下I）勉強する学校だと思っていました。でも、入ってみたら学校行事やイベントもけっこうしっかりやる学校なんだと思いました。

西尾先生（以下N）僕も勉強する学校というイメージでした。入ってみて思ったことは、特に部活動などで自主性をすごく大切にしていると思いました。

必要なのは、集中・スキマ時間活用・そして友達

→お二人とも運動部ですが、部活動と勉強の両立はどうしておられましたか？

I 私は卓球部で、通学に1時間くらいかかったので、その時間を使って勉強していました。夜は早めに寝て、朝は7:30には学校に来て、その時間に集中してやるようにしていました。

N 昼休みなどのスキマ時間を無駄にしないで勉強するようにしていました。教えるのがうまい友達に教えてもらったり。友達は大切です。

→昼休みといえば、野球部はあつという間にごはんを食べているイメージでしたが、学食に行ったりしていましたか？

N 午前のうちに持ってきたおにぎりを食べて、昼は学食でうどんと弁当を食べていました。うどんが安くておいしかったです。

→日々の勉強は授業の予習・復習ですか？

2人 はい。授業の予習復習が大変なので（笑）。

I 次の時間までにやっておく課題を指示されることもありました。あとは、週末課題がありました。3年の部活動引退後は計画を立てて、受験に必要な勉強をしていました。



仲間と過ごした青春

→週末はどのように過ごしていましたか？

I 土・日ともに半日ずつは部活だったので、学校に行って、帰りに塾に行ったりしていました。部活内の仲が良かったので、部活は楽しかったです。その時の友達とは今でも会っています。

オープンマインドが進路を決める

→進路はどうやって決めましたか？

N 小学校6年生の卒業文集に「プロ野球選手を支えるような仕事、スポーツに関わる仕事をしたい」と書いています。高校で進路を決めるときもスポーツを学びたいと思っていたので、スポーツ科学を専攻できる大学を選んで進学しました。ただ、大学時代に自分がやりたいのは理学療法士のような仕事じゃない…と思って、その時にお世話になった方のアドバイスで教員になりました。

I 私は小さいころは教員になるつもりは全然ありませんでした。大変そうだと思っていたので。ただ、大学受験に失敗した時に周りの先生方にすごく励ましてもらって、その時に教員になりたいと思って、進路変更しました。

北高寄宿舎はどんなところ？

→最後に、西尾先生は寄宿舎の担当もしておられましたが、北高の寄宿舎はどんなところですか？

N 自立しているという印象です。身の回りのこと、整理整頓や洗濯など自分たちできちんとしています。勉強するんだという意識がしっかりしているので、自学もしっかりしています。わからないことは周りの先輩に相談することもできますし、本当に良い集団です。

→やっぱり、自主性が大切、ということですよね。

規則は厳しいですか？

N 集団生活ですから最低限守らなければならない門限や食事時間の規則はありますが、寄宿舎生たちを見る限り規則を苦に感じているという印象は受けません。

→施設はどうですか？

N きれいです。部屋は2人部屋ですが、ベッドのまわりにカーテンがあるのでプライバシーもある程度確保されています。あと、食事がおいしいです。献立のリクエストに応じてくださることもあります。炊事の方を含め寮に関わる方々が親身になってくださるところもすごく良いところではないでしょうか。



北高寄宿舎



学校から約2km南西の閑静な住宅街にあります。
1階が男子舎室、2階が女子舎室となっており、定員は男子12名、女子12名です。
入学者選抜の出願届と同時に入舎希望を募り、入舎の可否は3月の合否通知の後すみやかに連絡します。

入舎条件	通学が困難な1・2年生 (詳しくはお問い合わせください)
入舎費	20,000円
入舎期間	1・2年生の間
舎費	月額39,000円(令和5年度)